

1 はじめに

錦津小学校は、明治6年「継志学校」という名で設立された、大変歴史のある学校です。現校舎も地域の方のお骨折りもあり建てられたとも聞き、当時から、将来を担う子どもを育てるための大切な学校として、地域の方々に支えられてきました。そんな、本校の教育を語る上で、地域の方々と触れ合う学習は欠かせません。今回は、そのいくつかを紹介いたします。

2 地域の方々と触れ合うふるさと学習

(1)お茶摘み会



毎年5月、多くの保護者、祖父母、地域の方が集まり、全校の子どもたちと一緒にお茶摘みをします。これは、校地内にある5a

の茶畑を利用し、50年以上続く活動です。子どもたちもおじいさんやおばあさんに教えてもらいながら、「一芯三葉」で夢中になって新芽を摘みます。お茶畑には「茶摘み」の音楽が流れ、新茶のいい香り、そして、温かい雰囲気包まれます。昨年は、33.7kgもの茶葉が獲れました。



6年生は、摘んだお茶の一部を煎って、むしろの上で茶揉みをします。地域の方は「小さい頃には、木箱に竹を打ち付けて、ソリにして遊んだよ」と昔の生活や遊びについても教えてください。乾燥して出来上がったお茶は、全児童の家庭やお世話になっている地域に配ります。お茶をお届けすると、「今年もありがとうございます。毎年楽しみにしています。大事にいただいていますよ。」とお礼の言葉をいただきました。

錦津小学校のお茶は、子どもたちと地域の方々とつなぐ、大切な宝物です。

(2)なかよしハイキング

5月には、八百津高校へなかよしハイキングに出かける活動もします。八百津高校では、1～6年生の縦割り集団「なかよしグループ」で児童会が計画

したレクを楽しみます。応援し合う声が、八百津高校のグラウンドで響き渡ります。

午後は、八百津高校のみなさんとの交流です。優しく声をかけてくれるお姉さん、おんぶをしてくれるお兄さん。みんな元気に活動し、笑顔いっぱいになります。

(3)にしきつクリーンアップウォークラリー

11月には、「なかよしグループ」でゴミを拾いながら地域をまわり、各ポイントでゲームを楽しみます。



昨年度は、錦津保育園で園児との〇×クイズや1年生からのプレゼントを渡したり、中野公園で昔の道具体験をしました。また、道に落ちているゴミを拾うことで、錦津の町も美しくなります。「自分たちにも、錦津のためにできることがある」ということを実感し、錦津を愛する気持ちが高まっています。



保護者の方々が、グループに1～2名ついてくださり、子どもたちの安全を見守ってくださいます。協力していただける方がいることも錦津小学校の宝です。

(4)どんど焼き・昔遊び・抹茶体験

1月は、1・2年生の子どもたちと保護者の方で、どんど焼きを行います。天高く上がっていく書き初めに「わあ～」という声があがります。その後は、昔遊びを体験。昨年度は、子どもたちが保護者の方に抹茶を点てることもしました。最後は、どんど焼きでできたおき火でお餅を焼き、おいしくいただきます。寒い冬空の下ですが、家族で食べるお餅は、ほっこりと心を温かくします。

